



# 日本ベンガルフォーラム 第2回



ジャミニ・ラエ作

日時：2018年6月24日（日）

- 12:00 開場
- 12:30～13:30 カルチャー部門「サリーを巡るベンガルの伝統文化」  
登壇者：シュクリシュナ石井
- 13:40～14:40 アクティビティ部門「現場から考えるロヒンギヤ難民問題」  
登壇者：大橋正明  
司会・ディスカッサント：日下部尚徳
- 14:50～16:50 リサーチ部門「シンポジウム:50年後に振り返るベンガルの農村社会—故原忠彦教授の民族誌再訪」  
(共催：東京外大AA研基幹研究人類学班、AA研共同研究課題)
- 14:50～15:00 挨拶： 谷口晋吉
- 15:00～16:00 報告者：  
1. 外川昌彦「ベンガル農村社会の民族誌的研究—故原忠彦教授のムスリム社会研究を事例に」  
2. 杉江あい「現代バングラデシュ村落社会の多面性—故原忠彦教授の民族誌と後続の村落研究より」  
3. 藤田幸一「バングラデシュ農業・農村開発の社会的基盤—故原忠彦教授の議論に寄せて—」  
4. 高田峰夫「原忠彦先生の研究を最初のバングラデシュ調査から考える—生涯にわたる調査と業績との関連を念頭に置きつつ—」
- 16:05～16:20 ディスカッサント： 石井溥
- 16:20～16:50 全体討論

会場：東京外国語大学（府中校）講義棟 115 教室

交通：多磨駅下車、徒歩約5分（西武多摩川線）

お問い合わせ・申し込み先：「日本ベンガルフォーラム」HPにて登録（当日参加も可）

<http://www.tufs.ac.jp/ts2/society/japanbengalforum/fevent.html>

日本ベンガルフォーラムについて・・・

2015年12月に国際ベンガル学会第四回大会が東京外国語大学で開催されましたが、その経験を活かしつつ、新たに日本におけるベンガル研究やベンガルに関わる活動をさらに進めるために日本ベンガルフォーラムを設立いたしました。年に一度全体集会を開催するほか、小規模な研究集会等を開いております。詳しくは、「日本ベンガルフォーラム」HPをご覧ください。

主催：日本ベンガルフォーラム

共催：東京外国語大学南アジア研究センター（FINDAS）